



持続可能な都市基盤整備 (道路整備事業)について

小林 修(令和研究会)

問 令和6年度策定の行田市基本構想の長期的な視点における行田市の将来像の実現に向けての令和6年度から令和8年度の3力年実施計画において、生活道路整備等の進捗が見えない。実施計画策定にあたり市民ニーズの実現及び安心・安全の構築をどう考えたか。

答 実施計画策定にあたっては、現在、市民の皆様からいただいた道路や水路等の整備要望が1,000件を超えており、事業採択にあたっては公平性、透明性を確保し、効果的かつ効率的な事業執行を図るため、行田市生活道路等整備事業評価制度に基づき計画、実施している。

問 令和6年度予算のポイントである、子育て支援、教育の充実、雇用の創出、交通インフラの各種事業実施による行田市の好循環が、令和7年度、8年度予算に反映されていないのでは。

答 予算規模については、予算策定の方針転換に基づき、しっかりと計上、措置していく。



特定自動部品のヤード問題について

村田 清治(令和研究会)

ヤードと呼ばれる自動車解体保管場所について埼玉県警が県や消防と地道な立入調査を続ける中、盗難車が持ち込まれたり、不法滞在する外国人の就労場所になったり、犯罪グループの拠点となったりするケースが全国で後を絶たないと言われている。

問 埼玉県条例が施行されて届出をされたヤードが県内で300箇所ある。県内で一番多いのが本市の30箇所、続いて岩槻が28箇所、次に多いのが吉川市の27箇所であるが、実態を把握しているか。

答 本年9月2日現在で市が把握している市内ヤードは、県への届出が行われている30箇所のほか14箇所を把握しており、合計44箇所である。

問 ヤードの設置は関係法令に抵触していないか。

答 行田警察署の立入調査に同行する中で法令に抵触していることを確認しており、是正指導を行った。

【その他の主な質問】

○福祉行政の本市の「生活保護業務の実態」について



ふるさと納税を活かした まちづくりの展望

新 諒平(令和研究会)

問 行田市のふるさと納税は1億2800万円を達成。今後の目標や計画は？

答 目標数値は未設定だが、本市独自の魅力的な返礼品を充実させ、より多くの方に知っていただき寄附につなげていきたい。

問 クラウドファンディング型ふるさと納税の改善策は？

答 12月の寄附増加時期に、積極的にプロジェクトの周知を図っていく。

問 新たな返礼品開発の具体策は？

答 事業者訪問で積極的にアイデアを提案し、地域資源を活用した新たな返礼品の開発を推進する。

問 寄附額を関係人口の指標とする考えは？

答 有効だが、寄附者の訪問や経済効果の分析も重視。継続的なアプローチで関係を強化する。

問 専門部署設置の考えは？

答 現体制(専任1名・兼任2名)で対応している。全庁的な連携をさらに強化し、効率的な運用を目指す。